

第9回糸魚川市教育委員会定例会会議録

(平成29年5月23日)

- 1 日時 平成29年5月23日(火) 午後2時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 庁議室
- 3 出席委員 教育長 田原 秀夫
教育長職務代理者 佐藤 英尊
委員 永野 雅美
委員 楠田 昌樹
委員 蘆本 修一
- 4 委員以外の出席者
教育次長兼こども課長 佐々木繁雄
こども課 課長補佐 磯野 豊 係長 林 壮一
こども教育課 課長 山本 修 参事 石川 清春
課長補佐 松村 伸一
生涯学習課 課長 渡辺 孝志
文化振興課 課長 磯野 茂 課長補佐 木島 勉
博物館 館長 大沢 喜昭
市民会館 館長 原 郁夫
書記 こども課主査 仲谷 貴子
- 5 報告
報告第 33号 補助執行事務に関する委員の委嘱について
糸魚川市青少年問題協議会委員
報告第 34号 感染症の集団発生について
報告第 35号 いじめ・不登校の状況について
報告第 36号 各課・機関所管事項について
報告第 37号 教育委員会共催・後援事業について
- 6 付議案件

- 議案第 52号 専決処分の報告について
糸魚川市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について
- 議案第 53号 専決処分の報告について
糸魚川市博物館協議会委員の委嘱について
- 議案第 54号 平成 29 年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第 3号）に関する意見の申出について

7 会議録署名委員の指名 3番 楠田委員

8 欠席委員 なし

9 傍聴者 3名

10 開会 午後 2 時00分

田原教育長	これより第9回教育委員会定例会を開催する。会議日程に従い、進めさせていただく。
田原教育長	報告第33号補助執行事務に関する委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
渡辺課長	今回は糸魚川市青少年問題協議会の委員を記載のとおり委嘱をするものである。当委員については各種団体など推薦があり、最終の推薦が出揃ったので今回委嘱をするものである。
田原教育長 永野委員	今ほどの説明について、ご質疑はないか。 7号委員で、小学校は青海地区、中学校と高校は能生地区となっている。今回はこれでよいが、糸魚川地区の校長先生も考えてもいいのではないか。
渡辺課長 田原教育長 委員	今後は地域バランスも考えていきたいと思う。 他に質疑はあるか。 （「なし」の声あり。）
田原教育長 山本課長	報告第34号感染症の集団発生について、事務局の説明を求める。 下早川小学校でインフルエンザによる学年閉鎖があった。3年生14名のうち7名がり患したため学年閉鎖を行った。2日から4日となっているがゴールデンウィークがあったため、実際はもっと長い日数となった。
田原教育長 佐藤教育長職務代理者	今ほどの説明について、ご質疑はないか。 感染の拡大がこの時期にまで伸びているわけだが、原因等について専門家の意見を聞いたのか。

山本課長	<p>専門家の意見は聞いてないが、春先にまでインフルエンザの時期がずれこんでいて危惧しているところであるので専門家等の意見をうかがって予防ということについて気に掛けていきたいと考えている。</p>
佐藤教育長職務代理者	<p>最初にA型が流行ってその後B型に移行して収束していくパターンが通常であると言われているが、今回はB型に移行してからまたA型に戻るといった傾向があったと聞いている。これには何かしらの理由があるのだから専門家等に意見を聞いておいてほしい。</p>
田原教育長	<p>予防接種や型等の状況等も分析して次のシーズンへの対応をお願いする。他に質疑等あるか。</p>
委員	<p>(「なし」の声あり。)</p>
田原教育長	<p>報告第35号いじめ・不登校の状況について、事務局の説明を求める。</p>
山本課長	<p>いじめの認知件数であるが、小学校では3年生、5年生の男子、中学校では1年生の男子、2年生の女子、計4件である。4件のうち解消が1件、取組中が3件である。</p> <p>昨年度重大事態となった案件について、今の状況を説明する。まず不登校となった関係だが、教育委員会内での調査チームにより調査を行った。4月は5日間だが登校しており、部活にも参加している。ただまだ不安定な部分もあるので引き続き見守っていく。</p> <p>もう1件、社会体育団体のスポーツクラブが関わっている案件については、先週いじめ問題専門委員会の委員に集ってもらい、提言に対する教育委員会の取り組みの方針や現在の進捗状況について報告し、ご意見をいただいた。主な意見としては、残っている生徒の状況についても心配しているので状況を見てほしい、また学校相談員制度について、予算もあるだろうが提言をしていることについて実現へ向けて検討してほしいというものであった。</p> <p>次にいじめの内容とその対応状況について、4月にあった事案は冷やかし・からかい・悪口等が3件、軽くぶついたりというのが1件であった。不登校の状況については30日以上欠席ということで、4月についてはまだ授業日数が17日くらいしかないので不登校はないが、不登校傾向の児童生徒の状況は5日以上ということでその人数も載せている。0人だが昨年度も不登校であがっていたお子さんも、引き続き注意して見たいということで載せてあり16人が不登校傾向ということになっている。今後も学校と連絡を取り、今年度から新しく設置した生徒指導支援員から積極的に学校を巡回してもらい、管理職及び生徒指導担当と情報交換をし</p>

	<p>ているところである。</p> <p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p> <p>不登校となった生徒について、4月は5日間の出席で部活動にも参加しているということで、その生徒は進級したと思うが、校内の昨年度の指導体制と今年度の指導体制の中で、特に担任の変更の有無、どのような配慮しているのか、保護者の状況はどうなっているか、情報提供をお願いしたい。</p>
田原教育長 靄本委員	
山本課長	<p>進級し担任は変わった。関係のあった生徒は別の学級に入っている。4月に入りインフルエンザにり患したり、学校に行きにくい状況もあったので、山本スクールソーシャルワーカーともう一度保護者と本人と面談をした。今月は市のスクールカウンセラーとも面談をし、引き続き心の相談にのっていききたい。</p>
靄本委員	<p>部活動へは昨年度末も時々参加する状況も見られて、学校に戻るという雰囲気も生まれてきたところだが、4月も部活動へ参加しているところを見ると、部活動の先生の関わりも大きいウエイトを占めると感じている。部活動の中の友だちも友人関係づくりには本人にとっても非常に頼りになる仲間だと想像できるので、フォローやみんなと一緒にという部分を働きかけてもらい、部活動が好きになり、さらにそれが学級にも繋がってくるというムード作りを学校へ指導していただきたい。</p>
佐藤教育長職務代理者	<p>こういう報告なので暗い感じがするが、解消へ向けての努力は もちろん大事だし続けられていくと思う。同時に人間関係の良い話というのは聞こえてこないのか。報告だから上がってきて当たり前だが、同時に良い話も吸収してほしい。学校の中でも日常的に会話で交わされるような雰囲気が生まれることを望む。今の段階だと良い話をあからさまにするとそれがまたやっかみなどでいじめの対象になるという状況もあるかもしれないので、そこは注意深くする必要がある。生徒・児童と良い話を交わしていけるようになればいいと思う。</p>
靄本委員	<p>不登校傾向の人数であるが、3学期の進級に伴い、担任が代わったり、クラス編成があったり、その本人を取り巻く環境が変わったときにこそ、チャンス作りが必要ではないかと思う。4月5月はまだまだチャンス作りが続いていくので、一人一人の子どもたちの状況をよく情報収集して、担任だけでなくチームを組んでアクションを起こし、保護者の協力も得ながら働きかけを強化していってほしい。</p>
田原教育長	<p>報告第36号各課・機関所管事項について、事務局の報告を求め</p>
磯野課長補佐	<p>こども課所管事項報告</p>

山本課長	こども教育課所管事項報告
渡辺課長	生涯学習課所管事項報告
木島課長補佐	文化振興課所管事項報告
渡辺課長	図書館所管事項報告
大沢館長	博物館所管事項報告
原館長	市民会館所管事項報告
磯野課長補佐	規則等の制定・改正について報告
田原教育長	報告第 37 号、教育委員会共催・後援事業の報告についてはご覧 いただきたいと思う。
佐藤教育長職務代理者	報告第 36 号、第 37 号の説明について、ご質疑はないか。 図書館のおはなし会であるが、市民図書館や能生子育て支援セ ンターが特に少ないが、人口比からいってこういう現象はどの のか。働きかけや設定の仕方なのか。何か理由があるか。
渡辺課長	原因までは分析していないが、結果的に少なかった。イベント が重なったのか、そういうことも考えていかなければならない。 今後はもう少し人を集めるような取り組みをしていかなければい けないと考えている。青海地区の方はボランティアさんたちが頑 張ってくれているので、いろんな媒体を使って PR していかない といけないと考えている。
佐藤教育長職務代理者	読み聞かせの効果というものは大きいと思う。できるだけ多く の人が参加できるようなサービスにしてほしいと思う。
田原教育長	せっかくの施設と機会を持つので、特定の人たちだけではなく 幅広く、初めて来られる方を対象にする読み聞かせなど、やり方 を工夫しながら数多くの方に参加していただけるようお願いす る。
楠田委員	能生地域対抗駅伝競走大会が 6 月 11 日にあり、6 月 23 日には 第 3 回実行委員会とあるが、これは 11 日の反省会なのか。それと も秋にもやっている駅伝大会の方の実行委員会なのか。
渡辺課長	6 月 11 日の反省会になる。公民館主導で動いているのでいろん な課題が出てくるので、それを振り返ることで来年につなげてい く、そういう会である。
鶴本委員	博物館の関係だが、今までも数値を提供してもらっているが、 小中学校のジオ学習の関係で、市内の子どもたちが教育活動の一 環で博物館を利用した実績も報告の中に入れてほしい。どの学校 がどのように動いているのか、どの学年が実施したのかというよ うなところが出てくるとジオ学習との関連もあるので把握しやす くなるのではないか。教育に関係するような部分の情報は校長会 等でも周知、活用していく、子どもたちの将来につなげていくと いうような啓発を繰り返しやっていただきたい。関心のある学校

	<p>はいつも行くが、来ない学校もあるではよくない。こども一貫教育も糸魚川ジオ学も重要な柱であるので、資料として残してほしい。</p>
大沢館長	<p>来館の教育関係団体の掲載をしている。5月に来館している学校もあるので来月も掲載する。</p>
永野委員	<p>相馬御風宅も改築された。そこも子どもたちに勉強の場として提供し、何年生にはそこへ行って学習をするというシステムとしてほしいと思う。</p>
木島課長補佐	<p>御風宅については、オープンということもあり例年より2割ほど多くの方が入館されている。考古館も学校の減免を利用した教育活動の一環でミュージアムと合わせて見学していただいている。今のところ学校単位での利用はないが、今後秋に向けて学校の方へ呼びかけをしていきたい。</p>
靄本委員	<p>市内の文化施設の利用につなげていくために、転入や新任の教職員が糸魚川市内を理解し教育活動につなげていくための視察研修のようなものを毎年実施していたと思うが、今年度はどのような見通しになっているか。</p>
山本課長	<p>今年度も教職員の研修ということで実施をする予定である。小中学校だけでなく、高校や幼稚園、保育園にも参加を呼びかける予定である。フォッサマグナミュージアムは毎年行くが、年によって方面を変えているので、今年度は玉翠園へ行ったり、青海方面なので市振あたりへも行ってみようという計画を立てているところである。</p>
靄本委員	<p>そういうところへ御風宅なども入れてもらうことで利用につながっていくと思う。</p>
佐藤教育長職務代理者	<p>学校の先生だけが新しく入ってくるわけではないので、一般の会社でも初めて糸魚川に赴任するという人もいるので、そういう人たちに地域の特色のある場所に案内して勉強してもらうというような取り組みをされているところがあるのか。例えば商工会議所やJCといったようなところでやっているという情報はあるのか。</p>
佐々木教育次長	<p>会社ごとの取り組みということは把握していないが、毎年4月に行われている「がんばれニューフェイス」のときにはこういった施設のPRはしている。各企業での企業研修の中で施設を巡るというようなこともあるので、企業支援室と協力して情報共有していきたいと考えている。</p>
田原教育長	<p>議案第52号専決処分の報告についてである。糸魚川市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。</p>
山本課長	<p>糸魚川市理科教育センター運営委員会について、1名の委嘱替え</p>

田原教育長 委員	<p>を行いたいものである。</p> <p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
田原教育長 委員	<p>それでは採決に入る。この議案についてご異議はないか。</p> <p>(「異議なし」の声あり。)</p>
田原教育長	<p>異議なしと認め、承認する。</p> <p>原案のとおり承認</p>
田原教育長	<p>議案第 53 号糸魚川市博物館協議会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。</p>
磯野課長	<p>糸魚川市博物館協議会委員が 2 年の任期が満了したことから、再任 8 名新任 2 名の計 10 名の委嘱を行いたいものである。</p>
田原教育長 委員	<p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
田原教育長 委員	<p>それでは採決に入る。この議案についてご異議はないか。</p> <p>(「異議なし」の声あり。)</p>
田原教育長	<p>異議なしと認め、承認する。</p> <p>原案のとおり承認</p>
田原教育長	<p>議案第 54 号平成 29 年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第 3 号)に関する意見の申出について、事務局の説明を求める。</p>
佐々木教育次長	<p>一般会計教育費等補正予算(第 3 号)のとおり</p>
山本課長	<p>一般会計教育費等補正予算(第 3 号)のとおり</p>
田原教育長	<p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p>
佐藤教育長職務代理者	<p>高等学校魅力づくり支援事業の増額補正で海洋高校の話はずいぶん前からあったのか。</p>
山本課長	<p>昨年度末に話があった。当初予算編成後であった。</p>
靄本委員	<p>毎年続くのか。糸魚川白嶺高校や糸魚川高校は対象にならないのか。</p>
松村補佐	<p>昨年は海洋高校が、国の事業でマレーシアへ魚醤の市場化への取り組みで行っている。その報告会の中で本年度ジオパークの大会が中国であるのでそこで発表できないかという投げかけが市長からあり、年度末でもあったので高校側としてもはっきりとした返事はできなかったが、年度が替わり体制を組む中に行けるといふことになり正式に補正予算を計上させてもらった。今回は時期的なこともあり海洋高校の取り組みとなった。今後他の高校でも特化した取り組みがあれば事業化していきたい。</p>
田原教育長 委員	<p>他にご質疑はないか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
田原教育長	<p>それでは採決に入る。この議案についてご異議はないか。</p>

委員
田原教育長

(「異議なし」の声あり。)
異議なしと認め、承認する。
原案のとおり承認

11 次回教育委員会定例会開催日

平成29年6月28日(水) 午後2時00分より 庁議室

12 その他

田原教育長
佐々木教育次長

次にその他で何かあるか。

駅北大火の資料について説明する。ガレキの撤去にかかる処理状況について、120戸147棟について処理を行った。次に義援金の配付状況について、現在総額で6億7,200万という金額である。一次配分については1億9,000万が配分された。第二次配分予定と第三次配分可能額は、再建に係る支援をもう少し手厚くしようということで再建部分を含めて了承いただいたところについては配分をしている最中である。まだ再建の目途が立っていない部分もあるので、金額の配分については今後数年間かかると聞いている。受付は9月くらいまで受け付けるということである。住宅や住宅以外の建物についても100万円という内容で、補修又は賃貸についても支援をしていくという内容である。

次に第3回駅北復興まちづくり計画検討委員会の資料の説明である。この検討委員会のメンバーについては、長岡技科大、東京理科大等の先生方、地区の区長等で、木村副市長を筆頭として12名のメンバーで構成されており、第6回くらいまで予定されている。11ブロックに分けて意見交換した内容について、特にA-2、A-3、B-2、B-4のブロックについては敷地の再編を考えているという場所になる。B-1が加賀の井がある場所である。続いて復興まちづくりの目標ということで具体的な内容について掲げられている。復興についての3つの方針ということで、将来的イメージは、災害に強いまち、にぎわいのあるまち、住み続けるまちとなっている。具体的な例として新幹線の駅北から国道までの間の鶴来家、加賀の井、それと東北電力のあった辺りの場所についてが防災・にぎわい拠点ということで3つの部分が交流の拠点として他の場所へも回遊していけるようにハード面も含めて素案を作っていこうというイメージになっている。この将来的なイメージについては、ロの字の商店街全域を含めて、6つの重点プロジェクトが掲げられており、①大火に負けない消防力強化プロジェクト、②大火を防ぐまちづくりプロジェクト、③糸魚川ら

しいまちなみ再生プロジェクト、④にぎわいのあるまちづくり、⑤暮らしを支えるまちづくり、⑥大火の記憶を伝え繋ぐプロジェクトとなっている。具体的には先週市民の方々に説明会を開いて提示されたものである。ハード面については早急にやらなければならないので、細かいソフト面での事業等は平成33年度までに順次進めていく予定となっている。今後6月議会にかけて、7月にはパブリックコメント、8月に発表という計画になっている。

現在大きな課題となっているのは、用地の交渉についてである。細かい話にもなるので、職員が不足しており、全庁的に今後対応していくことになる。

田原教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

佐藤教育長職務代理者

被災地域と非被災地域との隣接点での問題点等は審議されてきたのか。

佐々木教育次長

被災したところとそうでないところは明確に分かれている。復興の計画の大きなコンセプトは被災していない地域も含めて一緒に復興に向かうという考えである。まちの将来イメージは被災された地域についてはハード面で新たなまちづくりを行うが、今後交流人口の拡大ということになれば他の箇所も一緒に取り組まなければならないので、ソフト面や回遊ということを考えればロの字の商店街全域をひとつの復興のイメージというふうにとらえている。

12 閉会

田原教育長

第9回教育委員会定例会を閉会する。

午後3時10分 終了